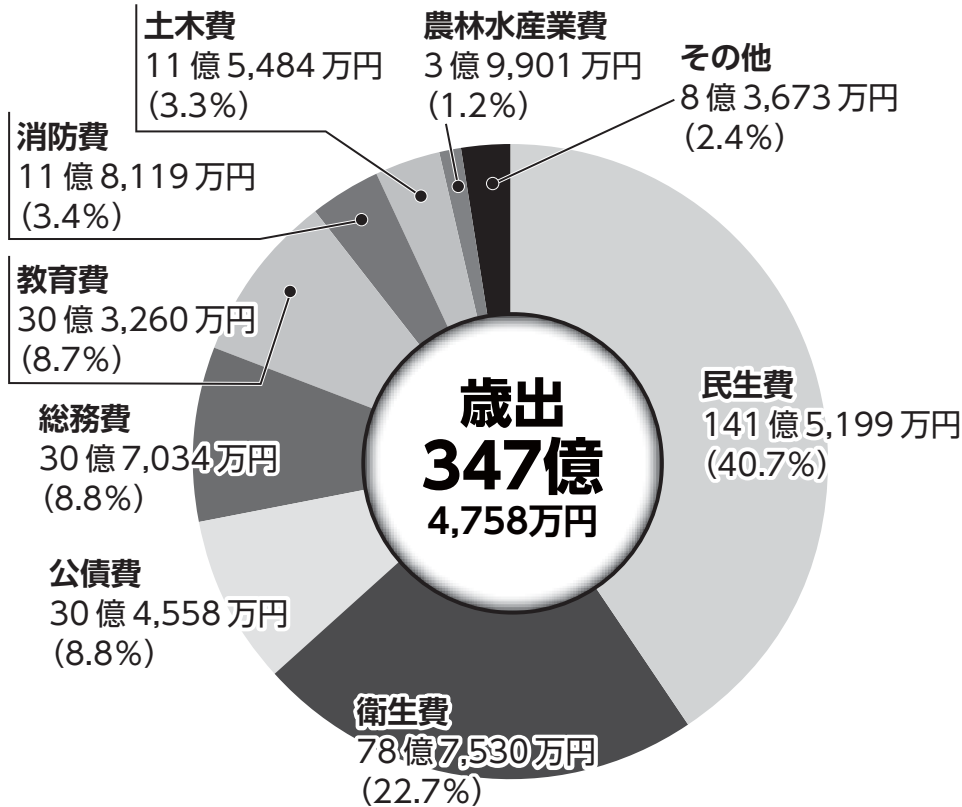


《歳出》



一般会計は、福祉や教育など基本的な行政サービスを行うための会計です。

用語の説明

民生費… 障害者や高齢者に対する福祉、子育て支援などのために使われるお金

衛生費… ごみ処理、環境保全、疾病予防、健康増進などのために使われるお金

公債費… 市が借り入れた借金などの元利償還金

総務費… 財産管理、統計、税金の事務などに使われるお金



市債現在高

市の借金

市債(学校や道路などの整備に国や銀行などから借りましたお金)の令和2年度末現在高は、一般会計と公営企業会計の総額で435億3,627万円。地方交付税として算入される額を除くと、市が実質的に負担する額は213億5,715万円で、全体の49.1%となっています。

会計名	令和2年度末現在高(1)	左のうち交付税算入見込額(2)	市の実質負担額(1)-(2)	市の実質負担割合
一般会計	272億3,509万円	165億718万円	107億2,791万円	39.4%
水道事業会計	53億3,186万円	2億3,891万円	50億9,295万円	95.5%
病院事業会計	3億4,264万円	1億1,902万円	2億2,362万円	65.3%
下水道事業会計	106億2,668万円	53億1,401万円	53億1,267万円	50.0%
合計	435億3,627万円	221億7,912万円	213億5,715万円	49.1%

健全化判断比率

5つの比率で財政の健全度を判断

数値は基準を下回っていますが、県内54市町村の中で、実質公債費比率は54位と最下位、将来負担比率は53位です。市の財政は非常に厳しい状況です。

指標	銚子市	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率 ▶ 一般会計の赤字割合	—	12.80%	20.0%
連結実質赤字比率 ▶ 市の全ての会計の赤字割合	—	17.80%	30.0%
実質公債費比率 ▶ 借金の返済がどれ位負担になっているか	12.2%	25.0%	35.0%
将来負担比率 ▶ 将来世代にツケを先延ばししていないか	115.3%	350.0%	

▶ 公営企業はいずれも資金不足は生じず、資金不足比率は生じませんでした。